

第15次経営戦略に係る総合評価

－令和2年度～令和6年度－

第15次経営戦略で設定した料金適用期間（令和2～6年度）が終了したため、経営戦略で掲げた取組事項の達成状況及び施策の評価について総合評価を行いました。

なお、総合評価にあたっては、単年度ごとの取組に対する結果に基づき評価するものを「単年評価」、過去からの累積の結果に基づき評価するものを「累積評価」として整理しました。

評価基準

●単年評価

定期的な実施の上、毎年度ごとの成果が求められる施策（例：水質検査精度管理の徹底）について、毎年度の事業評価の平均値により総合評価を算出しました。

各事業年度の評価について、a：4点、b：3点、c：2点、d：1点とし、その平均点を以下の基準により総合評価としました。

A：3.8以上、B：2.8～3.7、C：1.8～2.7、D：1.7以下

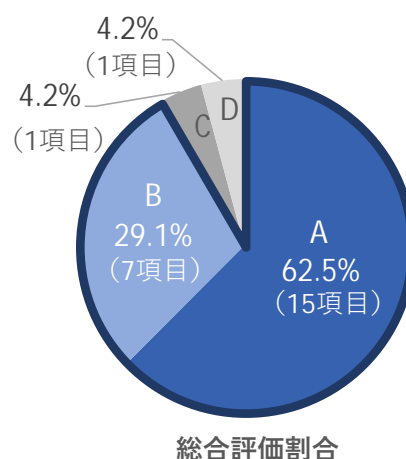
●累積評価

複数年にわたり実施の上、令和6年度までに成果が求められる施策（例：導水管更新事業の実施）について、令和6年度までの達成状況等に基づき総合評価を行いました。執行率により評価するものについては、5年間のトータルの執行率により評価し、それ以外の取組については、令和6年度までの施策の成果に基づき評価しました。

総評

全24項目の具体的取組事項の総合評価は、コロナ禍の影響などにより計画期間当初は進捗できない取組もありましたが、後年度の取組強化により、全体の62.5%が「A」評価、29.1%が「B」評価となったことから、第15次経営戦略に掲げた施策を概ね達成しており、一定の成果が確認できました。

令和7年度以降は第16次経営戦略に掲げた施策を推進するとともに、今後も事業評価の結果を踏まえた適切な事業の執行管理を行い、安全で安定した水道用水の持続的な供給に努めて参ります。



(1) 計画給水量に基づく水利権の確保

① 構成団体の水需要把握

実行計画工程表

	R2	R3	R4	R5	R6	評価方法
受水計画量の調査	(給水実績調査に併せた受水計画調査)			調査		累積
施設規模等の妥当性の検証	(施設規模の妥当性確認)			施設規模等の検証		

施策評価

	R2	R3	R4	R5	R6	総合評価
達成状況	a	a	a	a	a	A
施策の成果	a	a	a	a	a	A
これまでの取組内容	構成団体の受水計画調査を実施し、構成団体の水需要の動向を把握するとともに施設規模等の妥当性を確認した。					

② 水源開発状況を踏まえた必要水利権の確保

実行計画工程表

	R2	R3	R4	R5	R6	評価方法
思川開発事業		水特・基金事業への負担				単年
安定水利権	ハツ場 稼働				水利権確保	
暫定水利権		暫定水利権の検討・確保(必要に応じて)				

施策評価

	R2	R3	R4	R5	R6	総合評価
達成状況	a	a	a	a	b	A
施策の成果	a	a	a	a	b	A
これまでの取組内容	思川開発事業に係る水特及び基金事業に対して必要な負担を行うとともに、監理協議会等への参加により参画水源の着実な進捗を図った。また、思川開発事業の工期延伸に伴い、令和7年度からの安定水利権確保ができなくなったため、暫定水利権確保に向け令和6年度に許可申請を行った。					

(2) アセットマネジメントに基づく計画的な更新・保守管理

① 更新基本計画等に基づく計画的な施設更新

実行計画工程表

	R2	R3	R4	R5	R6	評価方法
アセットマネジメントの実践	ミクロマネジメント等に基づく アセットマネジメントのフォローアップ				見直し	累積
施設更新	計画的な施設更新					

施策評価

	R2	R3	R4	R5	R6	総合評価
達成状況	b	a	a	a	a	A
施策の成果	b	a	a	a	a	A
これまでの取組内容	工事発注及び施工について、計画期間当初はコロナ禍の影響により工事に遅れがあったが、後年度に工事を推進したことにより、施設の計画的な更新を進めた。					

② 長寿命化を念頭に置いた経年化施設の保守管理

実行計画工程表

	R2	R3	R4	R5	R6	評価方法
保守管理	経年化施設の点検、診断・評価、修繕履歴等に基づく保守管理					累積
修繕	劣化状況に応じた修繕					

施策評価

	R2	R3	R4	R5	R6	総合評価
達成状況	b	a	a	a	a	A
施策の成果	b	a	a	a	a	A
これまでの取組内容	修繕計画等に基づき計画どおり点検及び修繕を行い、事故の未然防止に努めた。					

③ 導水管更新事業の実施

実行計画工程表

	R2	R3	R4	R5	R6	評価方法
更新工事	工事（布設工事、管製作接合工事、電気設備工事等）					累積

施策評価

	R2	R3	R4	R5	R6	総合評価
達成状況	a	a	a	a	a	A
施策の成果	a	a	a	a	a	A
これまでの取組内容	予定どおり令和6年度に事業が完了した。					

④ 送水管更新事業の検討・実施

実行計画工程表

	R2	R3	R4	R5	R6	評価方法
基本計画策定	(事前検討)		基本計画の検討・策定 (第二期)			累積
事前評価			事前評価			
設計業務					実施設計 (第一期)	

施策評価

	R2	R3	R4	R5	R6	総合評価
達成状況	a	a	a	a	a	A
施策の成果	a	a	a	a	a	A
これまでの取組内容	予定どおり第1期事業については実施設計が進捗し、第2期事業については基本設計が完了した。					

(3) 今後の給水量を踏まえた水道施設 能力の検証

① 施設更新を見据えた浄水施設予備力確保の検討

実行計画工程表

	R2	R3	R4	R5	R6	評価方法
迂流壁改良工事	実施					累積
沈降促進対策工事	4系沈澱池		2系沈澱池			

施策評価

	R2	R3	R4	R5	R6	総合評価
達成状況	b	c	a	a	b	B
施策の成果	b	c	b	b	b	B
これまでの取組内容	令和6年度までに計画した工事を全て完了させた。改良効果については、次年度に検証を行う予定であるため未検証である。					

② 今後の給水量を踏まえた適正な施設規模等の検討

実行計画工程表

	R2	R3	R4	R5	R6	評価方法
浄水場施設更新等の検討	課題等の抽出・検討					累積
水需要に応じた施設規模等の検討	受水計画量等に基づく施設規模等の検討					

施策評価

	R2	R3	R4	R5	R6	総合評価
達成状況	a	a	a	b	c	C
施策の成果	a	a	a	b	c	C
これまでの取組内容	浄水場更新における課題及び更新形態等を整理し、更新基本方針（案）を報告書として取りまとめた。その後、基本方針（案）の精査を行うべく検討を継続したが、成果として取りまとめるには至らなかった。					

(4) 水質管理体制の強化

① 水質管理施設の計画的な更新

実行計画工程表

	R2	R3	R4	R5	R6	評価方法
設計業務	検討・策定					累積
更新工事			工事			

施策評価

	R2	R3	R4	R5	R6	総合評価
達成状況	a	a	a	b	a	A
施策の成果	a	a	a	b	a	A
これまでの取組内容	場内整備工事の完了が当初予定の令和5年度から令和6年度に延伸となったが、令和6年度までに水質試験棟築造に係る全ての工事等が完了した。					

② 精度管理の徹底・検査技術の維持向上						
実行計画工程表						
	R2	R3	R4	R5	R6	評価方法
水道GLPの維持	継続審査		更新審査		継続審査	単年
精度管理の徹底	内部精度管理の徹底と外部精度管理への積極的な参加 水質検査機器の計画的な更新及び適切な維持管理					
検査方法の 妥当性評価	告示法改正、分析装置更新時等における妥当性評価の実施 農薬類の妥当性評価の実施					
検査技術の 維持向上	内部研修及び外部研修等への積極的な参加による検査技術の継承 検査技術の共有等による強固な検査体制の構築					
施策評価						
	R2	R3	R4	R5	R6	総合評価
達成状況	b	a	a	a	a	A
施策の成果	b	a	a	a	a	A
これまでの 取組内容	継続及び更新審査を受審し、水道GLPを維持し続けている。また、環境省及び千葉県主催の外部精度管理に参加し結果は全て良好であると判断された。					

危機管理対策の推進

(5)防災・減災対策の強化

① 施設等の経年化を踏まえた防災・減災対策の実施

実行計画工程表

	R2	R3	R4	R5	R6	評価方法
防災・減災対策の実施	更新時に併せた防災・減災対策の実施					単年

施策評価

	R2	R3	R4	R5	R6	総合評価
達成状況	a	a	a	a	a	A
施策の成果	a	a	a	a	a	A
これまでの取組内容	陸水管橋の落橋防止対策工事等を実施するなど、耐震性能の向上等を図った。					

② 大規模浸水被害を想定した浸水対策の実施

実行計画工程表

	R2	R3	R4	R5	R6	評価方法
減災対策の実施	連携強化対策・応援協定等の締結 教育訓練実施					累積
大規模浸水対策の検討	浸水対策基本検討を踏まえた実行的な浸水対策の検討 施設更新時の設計計画への反映					

施策評価

	R2	R3	R4	R5	R6	総合評価
達成状況	a	a	a	a	a	A
施策の成果	a	a	a	a	a	A
これまでの取組内容	企業団が取るべき浸水対策の方向性を取りまとめた「浸水対策基本方針」を策定し、当該方針に基づき浸水対策工事（内水氾濫）を令和6年度に完了した。					

③ 管路付属設備等の補強対策の実施							
実行計画工程表							
	R2	R3	R4	R5	R6	評価方法	
補修弁交換	工 事					累積	
関宿線17工区 電動化		設計		工 事			
送水管排水施設 整備	設計		工 事				
施策評価							
	R2	R3	R4	R5	R6	総合評価	
達成状況	a	a	b	c	c	B	
施策の成果	a	a	b	b	c	B	
これまでの 取組内容	交通影響など現地条件等を考慮した数量見直しを行うなど計画どおりではないが、補強対策が進展した。						

(6)災害時の対応能力の強化

① 危機管理マニュアル等の見直し							
実行計画工程表							
	R2	R3	R4	R5	R6	評価方法	
危機管理マニ ュアル等の改正・強化	新規及び更新施設整備にあわせた関連マニ ュアルの改正・強化 他事業体の危機管理対策の情報収集等による関連マニ ュアルの改正・強化					単年	
教育訓練	定期的な机上及び実地訓練による対応能力の強化 千葉県内水道災害時対処要領による構成団体との情報伝達訓練						
再発防止策の 検討	用水供給業務に影響する事故等の発生による関連マニ ュアルの見直し 他用水供給事業体における事故事例等の情報収集						
施策評価							
	R2	R3	R4	R5	R6	総合評価	
達成状況	b	a	a	a	a	A	
施策の成果	b	a	a	a	a	A	
これまでの 取組内容	危機管理マニュアルについて適宜見直しを行い改定した。また、訓練計画に 基づき災害発生訓練を予定どおり実施した。						

② 送水管路管理運転の実施

実行計画工程表							
	R2	R3	R4	R5	R6	評価方法	
基本計画の フォローアップ	実施状況を踏まえた管理運転基本計画のフォローアップ 沼南調整池の緊急時運用を想定した管理運転基本計画の見直し					単年	
管理運転の実施	ループ線合流点変更運用、関宿線逆送運用 定期的な増量送水による本線支線の管理運転						
施策評価							
	R2	R3	R4	R5	R6	総合評価	
達成状況	b	a	a	a	a	A	
施策の成果	b	a	a	a	a	A	
これまでの 取組内容	毎年度、管理運転計画を策定し、概ね予定どおり実施したことにより、通常 運用においても構成団体からの増量要望にも水質変動することなく対応でき ている。						

③ 緊急時連絡体制の強化

実行計画工程表						
	R2	R3	R4	R5	R6	評価方法
情報伝達訓練の実施	千葉県防災行政無線に係る通信訓練等の実施 衛星電話等による構成団体との通信訓練の検討・実施					単年
施策評価						
	R2	R3	R4	R5	R6	総合評価
達成状況	b	a	a	a	a	A
施策の成果	b	a	a	a	a	A
これまでの取組内容	構成団体に衛星電話を設置し、情報伝達訓練を定期的の実施したほか、防災行政無線設備を用いた通信訓練を定期的の実施した。					

経営基盤の強化

(7)組織体制の維持・強化

①
実効的な組織体制の整備

実行計画工程表

	R2	R3	R4	R5	R6	評価方法
職員計画の策定					策定	累積
今後の業務量を見据えた組織体制の検討	事業規模に応じた職員数の見直し					
職員計画の執行	計画的な新規採用の実施、技術継承に配慮した再任用職員の任用					

施策評価

	R2	R3	R4	R5	R6	総合評価
達成状況	b	b	b	b	b	B
施策の成果	b	b	b	b	b	B
これまでの取組内容	採用試験の実施及び再任用職員の任用を行い、新規人員補充による適正な定員管理に努めたが、令和6年度末において、職員計画83人の予定のところ80人の職員数となった。					

②
人事評価制度の活用

実行計画工程表

	R2	R3	R4	R5	R6	評価方法
総合評価に関する要綱等の整備	活用の実施 運用実態に即した要綱等の見直し					単年
苦情処理制度の整備	評価結果の活用に係る苦情相談処理 活用方法の検討及び見直し					

施策評価

	R2	R3	R4	R5	R6	総合評価
達成状況	b	b	b	b	b	B
施策の成果	b	b	b	b	b	B
これまでの取組内容	人事評価制度では、評価結果を人事配置に活用した。また、評価結果の更なる活用方法について検討したが、導入には至らなかった。					

③ 人材育成・技術継承の推進

実行計画工程表

	R2	R3	R4	R5	R6	評価方法
職場研修の実施・効果検証		所属長による立案、実施及び効果検証 職員研修台帳の整備・共有				単年
外部研修の実施・職場研修との連携		職場研修との連結・所属からの要望聴取 外部研修との連携・研修計画の策定				
能力(再)開発プログラムの構築	プログラムの開発		プログラムの運用・効果検証			

施策評価

	R2	R3	R4	R5	R6	総合評価
達成状況	b	b	b	b	a	B
施策の成果	b	b	b	b	a	B
これまでの取組内容	職場研修については、毎年度研修計画を策定し、所属ごとに技術等の継承を行った。外部研修についても、毎年度研修計画を策定し、オンライン研修を活用するなどして知識・技能の習得を図ったが、職場研修に比して低い参加率となった。					

(8) 持続可能な事業運営の確保

① 適正な事業評価の実施

実行計画工程表

	R2	R3	R4	R5	R6	評価方法
業務指標及び経営指標の活用		他事業体の業務指標及び経営指標との比較による現状分析 業務指標及び経営指標結果を踏まえた各年度予算等への反映				単年
PDCAサイクルの実践		実施状況の確認（施策・数値） 事業計画の見直しの有無				

施策評価

	R2	R3	R4	R5	R6	総合評価
達成状況	a	b	a	a	a	A
施策の成果	a	b	a	a	a	A
これまでの取組内容	第15次経営戦略に掲げる具体的取組事項について施策評価調書等に基づき評価するとともに、その評価結果をHPに公表した。また、業務指標（PI）等により、類似事業体との比較を行った。					

② 保有資産の有効活用

実行計画工程表

	R2	R3	R4	R5	R6	評価方法
保有資産の有効活用		未稼働用地等の有効活用（有償貸付又は売却処分）				累積

施策評価

	R2	R3	R4	R5	R6	総合評価
達成状況	a	a	a	a	a	A
施策の成果	a	a	a	a	a	A
これまでの取組内容	保有する土地等について、関係法令に則り適正な価格による貸付を行ったほか、利用計画のない未稼働用地の一部を売却した。また、未稼働用地の有償利用に向け、他団体の事例調査等を行った。					

③ 効果的な広報活動の実施

実行計画工程表

	R2	R3	R4	R5	R6	評価方法
浄水場施設見学		環境学習や社会学習の場の提供に伴う啓発活動 PR用品の有効活用				単年
ホームページ及び広報誌による情報提供		現状分析を踏まえた改善策の検討 水道利用者目線に立ったわかりやすい広報の実践				
PR活動		水道週間」及び「水の週間」における啓発活動 構成団体等と連携したPR活動の充実				

施策評価

	R2	R3	R4	R5	R6	総合評価
達成状況	b	b	a	a	a	B
施策の成果	b	b	a	a	a	B
これまでの取組内容	コロナ禍により計画どおりに実施できないこともあったが、広報誌やホームページで情報発信を行ったほか、構成団体主催のイベントや夏休み親子見学会を通して、企業団事業についてPRした。					

④ 地球温暖化対策の実践

実行計画工程表

	R2	R3	R4	R5	R6	評価方法
地球温暖化対策実行計画の運用		第4次 地球温暖化対策実行計画 (計画期間：H28～R7)				単年
環境負荷低減方策の検討		情報収集		方策検討		

施策評価

	R2	R3	R4	R5	R6	総合評価
達成状況	a	b	b	b	b	B
施策の成果	a	b	b	b	b	B
これまでの取組内容	削減目標に達しない年度もあったが、地球温暖化対策実行計画推進委員会及びエネルギー管理推進委員会において状況把握と改善方策を検討し、エネルギー使用の合理化を進めた。					

⑤ 国際貢献への取組

実行計画工程表

	R2	R3	R4	R5	R6	評価方法
ホームページ等広報媒体の多言語化		ホームページ及びパンフレットの改訂等にあわせた見直し 他事業体の多言語化対応状況の情報収集				単年
海外研修生及び視察者の受入れ		国際協力機構等が主催する海外研修生や研修生の受入れ 受入体制の整備				

施策評価

	R2	R3	R4	R5	R6	総合評価
達成状況	d	d	d	d	d	D
施策の成果	d	d	d	d	d	D
これまでの取組内容	国際協力機構等が主催する海外研修生や視察者の受入れの要請がなく、実施にいたらなかった。また、日本水道協会主催の国際研修については、希望者がなく実施に至らなかった。					